令和元年度　学法福島高等学校　文理・特別進学コース　２学年通信

Sky High

2019/6/3

絆の深まった遠足……修学旅行では……

５月２１日火曜日、遠足が行われ、文理・特別進学コース２年生は、仙台市内フィールドワークを実施しました。この日は朝からあいにくの雨で、しかも昼前後には雨風ともに強くなり、傘をさしていても濡れてしまうような一日でした。けが、事故、トラブルもなく、学ぶべきことが盛りだくさんの遠足となったようです。

さて、ここで今回の遠足の反省をしてみましょう。まず、集合については行きも帰りもきちんと守られており、遅刻する班は全くありませんでした。これはたいへん立派なことです。修学旅行でも引き続き、この点を崩さないようにしていきましょう。集合が遅れれば、観光する時間が短くなったり、帰ってくる時刻が遅くなったりします。修学旅行のときには今回以上に時間には気を配ってください。めったに行けないアメリカでの観光の時間が減ったり、買い物の時間が削られたり、宿舎に帰る時刻が遅くなったり、最悪の場合は飛行機に間に合わなくなることも考えられます。集合時刻というのは、点呼が完了して出発する時刻であることを頭に入れておき、「５分前集合」を徹底するようにしましょう。今回、先生から指示されて班長が点呼している場面が見られましたが、修学旅行では班長、幹事が自主的に点呼を行って先生に報告するようにしましょう。

電車や地下鉄でのみなさんの様子も立派だったと思います。ごみを車内に捨てる人もなく、座席も占領せず、他の乗客に迷惑をかけることもありませんでした。修学旅行では、ごみやマナーについて日本以上に厳しい国に行きます。最近、日本でもなくなってきましたが、アメリカでは唾や痰を路上に吐くことも許されません。アメリカのバスの中で、テイクアウトの飲食物を持ち込んで飲食することができません。ごみを落としたりガムを吐き捨てたりなど論外です。アメリカのバスの運転手さんは、自分の運転するバスを自分の車だという意識を強く持っています。汚したり、ごみを落としたりすることに対して、とても不快な気持ちを抱くそうです。

今後、各班で調査したことから自分たちの立てた仮説の検証を行います。調査した内容は今後、発表してもらうことになりますが、施設の方々などにインタビューした班は、聞く態度はきちんとできていたでしょうか？　修学旅行でも現地のガイドさんが興味深いお話をしてくださいます。反応のある集団や素直に吸収しようとする集団に対しては、ガイドさんは詳しく説明してくださいます。逆に、反応のない集団、態度の悪い集団、バスなどで居眠りをしている人のいる集団には、ガイドさんは話をやめてしまいます。今回の反省点を生かして、１１月に行われる修学旅行では全員がマナーとルールをきちんと守って、楽しい有意義なものにしようではありませんか。

◆遠足作文◆　全員に書いてもらった作文の中から２人の作文を紹介します。

『また行きたい仙台』　２年５組　粟野日菜美

私たちは、５月２１日に歴史や自然を学ぶために、電車で仙台へ行ってきました。私の班は、まず初めに東北歴史博物館へ行きました。ここには、縄文時代から現代までに使われていた道具が数多く展示されていたり、竪穴住居があったりと、昔の様子を思い浮かべながら見学することができました。授業で習った石器なども展示されており、友達と楽しみながら見学ができました。見学の後、長町にあるショッピングモールへ行き、そこで牛タンを食べました。仙台の牛タンは柔らかくてとてもおいしかったです。食後はモールの中を散策しました。モールの中には雑貨店が多く、短い時間だったのですが、スピーディーに見て回ることができました。この日はあいにくの雨でしたが、みんなと楽しく過ごすことができ、思い出に残る遠足でした。

『充実した仙台フィールドワーク』　２年６組　佐藤　柊

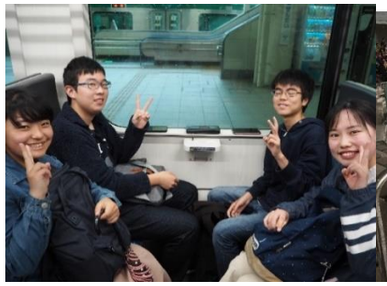
今回の遠足で、私たちは「仙台フィールドワーク」を実施した。以前の遠足は予定が詰まっていて、見学場所をじっくりと見ることができなかったということがあった。しかし、今回のフィールドワークでは、予定を詰め込まずに１つの見学地をじっくりと見学するという行程にした。その結果、非常に充実したものにできた。

今回、私たちは「うみの杜水族館」に行った。そこで、出発前に立てた仮説を検証しようとしたが、検証したいと考えていた資料が水族館にあまりなくて、予定していた検証は完璧には行えなかった。そのため、見学場所の下調べを入念に行うことの重要性を知った。今回、十分な仮説の検証にまでは至らなかったが、アシカ・イルカショーを見たり、大水槽で悠然と泳ぐエイを見たりなど、さまざまな生物を見て楽しむことができた。

また今度、フィールドワークの機会があれば、入念な下調べを行い、さらに充実したものにしたい。

◆遠足スナップ

▼仙台駅にて全員集合！



▲行きの電車の中で楽しいひととき

▲アシカ・イルカショーに見入る

▲うみの杜水族館…興味津々

▲仙台駅ホームで帰りの電車を待つ

▲後は帰るだけ…

資格・検定ラッシュ

６月、７月は英語検定、漢字検定などが行われます。１年１か月後の３年生の夏休みに、志望校を固めることになります。ＡＯ入試を考えている人は、早ければ８月下旬から入学試験が行われます。推薦入試を考えている人は、１０月に出願となります。逆算すると、みなさんが願書、エントリーシートを書いたり、担任が調査書を作成したりするのは、早いところでは８月になります。資格・検定試験は受検してから１か月半ほどで結果が出ます。ということは、７月上旬までに受検して合格したものしか書類に記載できないことになります。

さて、あなたは３年生の７月までにどのくらいの資格・検定を取得していることでしょうか？　記載できるのは、高校在学中に取得した主に準２級以上の資格・検定です。

資格・検定は進学や就職の時に重視される項目のひとつです。特に、みなさんの学年からは、「ポートフォリオ」といって、高校時代の活動歴とその過程をレポートのような形で大学に提出することが求められる場合が出てくるようになります。ここに記載できるものは、資格・検定取得、部活動実績、生徒会役員の活動歴、ボランティアの活動歴などです。たくさん書き込むことのできる受験生と、書き込むことがほとんどない受験生との間には、大きな差が生まれてしまいます。大学によっては資格・検定を点数化するところもあります。より多くの、より上位の資格・検定を取得していたほうが有利と言えます。

このように考えてくると、いかに２年次の資格・検定への取り組みが大切かということが分かることでしょう。自分の目標を再確認して、その目標を実現するためには、どの資格・検定を取得しなければならないのかよく考えて、行動を起こしてほしいと思います。今回申し込んでいない人は、後期には申し込むようにしましょう。

学校には勉強する仲間がたくさんいて、ひとりで受検するわけではありません。また、本校には熱心な先生方がたくさんいて、補習を行ってくれたり、質問に応じてくれたり、励ましてくれたりします。この恵まれた環境で必死に取り組めば、きっとあなたの目標とする資格・検定は合格するはずです。後で悔いることのないように、今しかできないこれらの勉強を全力で行い、自分を飾る物をたくさん身につけましょう。

中間考査の落とし穴

６月１８日（火）から２１日（金）まで、前期中間考査が行われます。本校は２期制を導入しているので、３学期制の学校に比べて定期考査の数が少ないことになります。「考査が少なくてラッキー！」などと思っている人はいないでしょうか？　考査が少ない分だけ、ひとつひとつの考査の比重が増え、範囲も広がり、失敗が許されないのです。

２年生に進級して新しい科目ができたり担当の先生が替わったりして初めて行われる考査です。今こそ挽回のチャンスです。まだ内容も基礎的な分野が多いので、努力次第では好成績を収めることが可能です。他の人が５時間勉強しているところを２時間しか勉強していないのでは、順位を上げることもできません。そのためには強い意志を持って勉強に励んでください。

また、成績を上げるためにはひたすら勉強することも大切ですが、出題されやすい重要なところや、自分がまちがえやすい問題を重点的に学習することも大切です。授業中、注意して先生の話を聞いていると、先生が繰り返したり、強調したりしていることが分かると思います。そこがテストのポイントであり、そこをきちんと押さえて、メリハリのある学習を心がけてください。

１年生の時に好成績だった人は成績を上げるコツも喜びも知っていると思いますが、２年生の中には進級して目覚めた人が多数出てきますので、油断せずきちんと取り組み、さらに上位をねらってください。

今月の予定（６月）

１（土）	衣替え基準日
２（日）	英語検定１次（申し込み者）
１５（土）	サタスタ（国語・英語）
１８（火）～２１（金）	前期中間考査
２１（金）	校内進路ガイダンス
２２（土）	サタスタ（英語・数学）
２５（火）	前期分模擬試験代金納入期限
２９（土）	進研総合学力テスト
３０（日）	英語検定２次（１次合格者）
７／１０（水）	修学旅行保護者説明会（とうほう・みんなの文化センター・小ホール） ☆午後１時３０分受付　２時００分開会 ※後日、お子さんを通してご案内の文書をお渡しします。 ※修学旅行の詳しい説明を行うので、欠席なさらないようにお願いいたします。
７／１２（金）	漢字検定（放課後・申し込み者）

保護者の皆様へ

５月上旬は肌寒い陽気でしたが、下旬には記録的な猛暑となり、一気に季節が進んだように感じます。また、６月に入って生徒も衣替えとなり、教室も明るく感じられるようになりました。

部活動に所属しているお子さんにとっては、高体連の県大会も行われ、日ごろ部活動で鍛えた成果を発揮してきたことと思います。３年生もそろそろ引退の時期を迎え、２年生が最高学年として部を引っ張っていく時期となりました。日ごろ、辛い練習に励んだり、自分の能力を高めたりするのはもちろんですが、体調管理もきちんと行うことができてはじめて、一人前の選手と言えます。保護者の方におかれましては、親の立場でそのことをお子さんに自覚させつつ、健康管理に注意して励ましてください。

また、前述しましたように、今月と来月は資格・検定が実施されます。学校ではホームルームや授業を通して、資格・検定の意義について触れ、少しでも多くの資格・検定を取得できるように指導しております。卒業後、社会人となってからこれらのものに挑戦していくのは難しいことです。しかし、高校生の今の時期ならば、取得しやすい環境ができています。ひとつひとつの資格・検定に目標を持って取り組んでいってほしいと考えています。お子さんがこれらのものを思う存分受検できるように、保護者の方のご協力もお願いしたいと思います。